



東大阪消防広報

2019年(平成31年)
No.103

「忘れてない? サイフにスマホに火の確認」(平成30年度全国統一防火標語)

発行所
東大阪市消防局
東大阪市稲葉
1-1-9
TEL072(966)9663
FAX072(966)9669

関係機関との連携強化

事故防止はもちろん、万一事故が発生した場合は、関係機関との連携が欠かせません。警察や自衛隊などの関係機関と合同訓練を行うなど連携強化を図っています。



爆発物によるテロを想定した訓練(左)と自衛隊員から化学物質による汚染の検査を受ける消防職員(上)

特殊災害対応能力強化

国際的なスポーツ大会では、多くの観客が押し寄せたことによる事故のほか、化学物質や爆発物を使ったテロなどにも備える必要があります。さまざまな事態に対応できるように、資機材の整備や訓練を行っています。



外国語による119番通報対応強化

市花園ラグビー場では、世界屈指の強豪国による対戦4試合が予定され、海外からも多くの観客が見込まれます。外国語による119番通報の対応を強化するため、昨年4月から翻訳センターを利用した通報の受信体制を構築しています。



消防指令センター



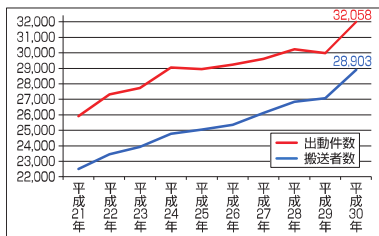
化学物質を使ったテロを想定し、市花園ラグビー場で救出訓練にあたる消防職員(左)と傷病者を搬送する様子(上)

ラグビーワールドカップ2019日本大会

安全で安心できる大会をめざして

今年、ラグビーワールドカップ2019日本大会が花園でも開催されます。市消防局では、昨年11月に内閣官庁や消防庁、自衛隊、大阪府警察などとの実動訓練を実施しました。今後も有事の際の対応を強化し、大会開催期間中の安全確保に全力で取り組みます。

出動件数・搬送者数の推移



救急出動件数過去最多

①適正 ②利用 ③やろうよ!

昨年、救急出動は3万2058件、搬送者は2万8903人で過去最多を記録しました(グラフ参照)。中には緊急性の低い要請も多く含まれ、本当に緊急を要する方への到着の遅れが懸念されています。

緊急性の低い要請がある反面、救急要請をためらってうちに重症化したとみられる事例もあります。緊急の症状を見逃さず、すぐに救急車を呼ぶことも大切な適正利用です。緊急時は迷わず119番してください。

呼ばないだけが適正利用じゃない!

緊急性の低い要請がある反面、救急要請をためらってうちに重症化したとみられる事例もあります。緊急の症状を見逃さず、すぐに救急車を呼ぶことも大切な適正利用です。緊急時は迷わず119番してください。

お酒を飲みすぎて気持ち悪い、救急車で行った方が早く診察してもらえと思うなど、これらは本来にあった救急車を呼んだ理由です。救急車は限りある資源です。本当に必要な方が利用できるよう適正利用にご協力ください。

救急車を呼ぶべきか迷ったときは

救急安心センターおおさか

#7119
または 06-6582-7119

※緊急のときは必ず119番をお呼びします。

警察備課

救急車を呼ぶべきか迷ったときは、救急安心センターおおさかをご利用ください。病気やケガの緊急性に関する相談や、症状に応じた救急病院の案内を行っています。相談中に緊急性が高いと判断したときは、消防局にすぐに救急車を出動させます。

迷ったときは #7119



緊急出動する救急車